



松山市立久米中学校

学 校 通 信

生徒会キャッチフレーズ

「久米中 For You『4U』～友・優・勇・結～」

校訓
勤勉
・
親切

第17号

令和8年1月8日



あけましておめでとうございます



今年も、生徒の皆さんの活躍や行事など、様々な情報をお届けします。学びと成長にあふれる一年となることを願っています。

© NotebookLM

12月26日(金)・28日(日)

全日本アンサンブルコンテスト愛媛県大会中予地区予選

吹奏楽部の1・2年生30名は、12月26日(金)・28日(日)に愛媛県生涯学習センターで開催された「全日本アンサンブルコンテスト愛媛県大会 中予地区予選」に出場しました。この大会は、夏のコンクールが運動部の総体にあたるなら、新入大会に相当します。少人数編成ならではの個々の技術や音色が試される場であり、現在の力を測る貴重な機会となりました。今回は、「打楽器四重奏」「管楽七重奏」「サクソフォン四重奏」「木管七重奏」「金管八重奏」の5グループが出場しました。

打楽器四重奏

銀賞

上岡 虹心

結果は銀賞というとても悔しいものでした。ですが、たくさんの人に支えてもらい、私たちの音楽を作り上げ挑みました。仲間と一緒に曲のイメージを膨らませ、息を合わせて日々練習を重ね、本番では自信を持って楽しく演奏できました。来年の大会に私は出られませんが後輩に思いを託して残りの部活を全うしたいと思います。

管楽七重奏

銀賞

乃万 愛莉

金管、木管楽器を合わせた一年生7人で舞台に立つことができました。全員初めてのアンサンブルコンテストで、失敗したところもあったけれど、最後にはみんなで演奏できて「心の底からたのしかった」と全員が思えるコンクールにできました。支えてくれた皆様に感謝してこの経験を活かし、これからもその感謝を演奏で返せるように努力していきたいです。

サクソフォン四重奏

金賞

松崎 愛奈

私が1番学んだことは「仲間と音楽をする」です。アンコンまでの最後の1週間では、強弱や吹き方などを中心に表現を磨きました。だんだんと「音楽」ができてきて、とても楽しかったです。金賞で代表にはなれませんでした。いい経験になったと思います。この経験を活かして夏のコンクールでいい結果を取れるように練習を頑張ります!!

木管七重奏

銀賞

和田 芽依

アンサンブルコンテストを通して、音を聴きあい1つにすることの難しさと大切さを学びました。銀賞という結果はとても悔しかったですが、ここまで支えてくださった先生や仲間々に感謝しています。この悔しさを力に変え、夏のコンクールで全国大会出場を目標に努力していきたいです。

金管八重奏

金賞

山之内 寧音

今回一番に感じたことは、初めて「ホールで吹く」を楽しめた、ということです。今までも公共の舞台に立つことはありましたが、夢のように過ぎていくものでした。ですが今回は、響いている瞬間の音を楽しんで聴くことができました。惜しくも代表権は得られませんでした。次の舞台へ繋げられる何かを掴めたように思いました。



12月26日(金) まつやまいじめ0ミーティング 参加報告



本日、コミュニティセンターで行われた「まつやまいじめ0ミーティング」に、久米中を代表して、生徒会長 藤岡さんが参加しました。詳しくは、後日報告会で紹介してくれます。久米中生みんなていじめについて考える機会にしましょう。

いじめ0ミーティングとは松山市内の小中学生が一同に集まり、いじめ0の意識を再確認するミーティングです。まずいじめ0に向けて各校でどのような取り組みが行われているかを発表し、学びました。次に前のステージで4校の生徒が代表としてパネルディスカッションを行いました。他校でされているいじめ0に向けた取り組みなども知ることができました。久米中では「いじめ0宣言」が伝統的にされています。そのいじめ0宣言に加え、新たないじめ0につながる取り組みや今ある取り組みの見直し、活性化など皆さんが安心して過ごせる学校を作っていきたいと思えます。ですが、いじめ0を目指すには皆さんの協力がなければ成り立ちません。1人1人がいじめを防ぐという意識を持ち、いじめ0を目指していきましょう。

1月8日(木) 令和7年度 第3学期 始業式

始業式では、生徒を代表して2年生の新居さんが、3学期に向けた抱負を「自分の武器を作ること」として発表しました。

学習面では、理解不足を放置せず復習を徹底し、苦手科目にも積極的に取り組むことを目標としました。生活面では、健康管理と規則正しい生活を心掛け、部活動を通じて体力と皆勤を維持することを決意しました。さらに、周囲への感謝を行動で示す「感謝力」を磨いていきたいと述べました。また、4月からは3年生、受験生となるため、時間を大切に、目標を持って過ごしなが、自分の強み(武器)を増やしていける3学期にしたいという思いを込めて発表しました。



第一の武器：学習 | なぜ努力は結果に繋がらなかったのか？

- ・2年生になり、勉強時間の確保に努めてきました。
- ・しかし、それがテストの点数に結びつかないことがありました。

原因は、十分理解できていない内容を、そのままにしていたこと。
「わからないことが積み重なると、どれほど大変なことになるかを身をもって知りました。」



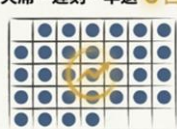
第二の武器：生活 | 揺るぎない土台を築く

- ・幼い頃は病気がちで、学校を休むことがありました。
- ・しかし、部活動を通して体力がつき、今では休むことは少なくなりました。



現在までの記録

欠席・遅刻・早退 0回



第三の武器：感謝 | 私は一人で活動しているのではない



「それは当たり前のことではありません。」

校長式辞では、3学期が一年間の総仕上げを行う大切な学期であることを伝え、健康や交通安全に気を配り、有終の美を飾ってほしいと呼び掛けました。また、新しい年を迎えるにあたり、夢や目標を持ち、継続して努力することの重要性を強調しました。加えて、3学期に心掛けてほしいこととして「思いやりのある人になる」ことを挙げ、相手を大切に、助け合う姿勢の必要性を伝えました。さらに、司馬遼太郎氏の話为例に、日常生活でできる「気持ちのいい挨拶をする」「整理整頓をする」「感謝の気持ちを伝える」などの小さな「思いやりの訓練」を積み重ね、自己の確立とうるおいのある社会づくりを目指してほしいと呼び掛けました。



体育大会や合唱コンクール、福祉体験学習、職場体験学習、文化体験学習など、数多くの行事を通して、生徒の皆さんは努力を重ね、大きく成長しました。部活動でも多くの成果を挙げ、充実した学校生活を送ることができた一年でした。

今年は午年。「行動力」と「挑戦」を象徴する干支です。さらに、久米中学校創立80周年という記念すべき年でもあります。新しい一年も、久米中生全員が夢に向かって力強く前進できることを願っています。

保護者の皆様、昨年に引き続き、本年もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

